

明治33年、9代濱口吉右衛門が衆議院議員として活躍する中「国家百年の計は植林事業にあり」と政財界を説き、郷里である和歌山県廣村(現広川町)を中心に山林を購入、以来百十余年に渡り林業と向かい合ってきました。廣村は西方に紀伊水道、東北は霊山高野山、東南に熊野古道で熊野三山へと繋がっています。現社長12代濱口吉右衛門は中長期的な視野に立ち、環境に配慮した持続可能な森づくりに取り組んでいます。また天然林を残し、様々な樹木の保護、巨樹の登録を積極的に行っています。森づくりを通じて、自然との共生を目指し、自然界も我々人間も共に「シアワセ」になれるように・・・それが東濱植林の願いです。

プロジェクトの実施場所	和歌山県広川町
吸収量(予測)	年間 1,357 t-CO2
在庫量	3,900 t-CO2(24年4月時点)
クレジットの次回発行予定	25年 9月
1t-CO2あたりの希望単価	応相談

森林吸収系(持続可能な森林経営型)ですからCSR、企業のイメージアップにはもとより、**商品使用**や**自己活動オフセット支援**まで **消費者**へのアピールにも最適です。

おすすめスポット
幹周434cmの大カシなどの巨樹めぐり。百年ヒノキの森の森林ウォーキング。間伐体験など。
山を楽しんだ後は、ほたるの里滝原温泉ほたるの湯でゆったり癒されます。近くにはソメイヨシノ約千本の桜の名所も。

※県指定文化財濱口家邸宅(非公開)も御覧ください。

URL <http://www.tohin-shokurin.com>

森林所在地	百年ヒノキの森(扇谷)
	
広葉樹林とほたるの生息池	大カシ(幹周434cm) 登録巨樹:環境省
	

■担当 東濱植林(株) 神林正紀
tohi.01@tokyo.email.ne.jp

TEL:03-3666-2060